

### 3. 平成 20 年度調査

#### (1) 使用データ

##### 入手データ

以下の 3 つの監督署管轄地域における平成 18 年の労働災害データ。

表 労働災害データ（平成 18 年）

	休業 4 日以上	休業 4 日未満
向島	606	42
八王子	665	52
池袋	928	128
合計	2,199	221

##### 分析対象データ

休業 4 日未満データは、労働者死傷病報告の提出率が低いことから、業種等で偏りが見受けられる。このため、業種のかたよりを可能な限り小さくするため、①郵便業務、②建築工事（鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業およびその他建築工事業。建設業におけるその他、土木工事、木造家屋工事、機械器具設置工事等は除く）の 2 つの業種を対象とする。

①、②のデータ抽出方法を以下に示す。

①郵便業務 : 事業場名→「郵便局」で自動的に抽出

②建築工事 : 事業の種類、事業場名、工事名、職種から抽出（一部推測）

表 分析対象データ

	休業 4 日以上		休業 4 日未満	
	郵便業務	建築工事	郵便業務	建築工事
向島	17	65	10	11
八王子	36	70	6	16
池袋	36	99	31	35
合計	89	234	47	62

#### (2) データ項目の追加

比較分析を行うにあたり、休業 4 日未満は、休業 4 日以上と比べデータ項目が不足している。

このため、休業 4 日未満の災害発生状況を読み込み、以下、休業 4 日以上にある職員記入項目を休業 4 日未満に追記した（一部推測あり）。

- 事故の型（例：墜落・転落）
- 起因物（例：クレーン）
- 傷病性質（例：打撲傷）
- 疾病部位（例：腰部）

### (3) データの比較・分析

#### A．建築工事

##### 事故の型別

- ・休業4日以上は墜落・転落災害が最も多く 34.2%を占め、次いで、はさまれ・巻き込まれ 12.4%、激突され 9.8%、飛来・落下 9.4%、動作の反動・無理な動作 9.0%である。
- ・一方、休業4日未満は、高温・低温の物との接触（熱中症）が 17.7%と最も多い。次いで、墜落・転落 16.1%、転倒 12.9%、飛来・落下 12.9%、切れ・こすれ 11.3%である。
- ・休業4日以上と比較した休業4日未満の労働災害の特徴は、高温・低温の物との接触（熱中症）が著しく多いこと、切れ・こすれ災害、転倒災害の比率が高いことなどがあげられる。

表 建築工事 事故の型別

事故の型	休業4日未満		休業4日以上	
	人数	構成比	人数	構成比
墜落・転落	10	16.1	80	34.2
転倒	8	12.9	19	8.1
激突	2	3.2	10	4.3
飛来・落下	8	12.9	22	9.4
崩壊・倒壊	2	3.2	3	1.3
激突され	1	1.6	23	9.8
はさまれ・巻き込まれ	4	6.5	29	12.4
切れ・こすれ	7	11.3	16	6.8
踏み抜き	0	0.0	1	0.4
高温・低温の物との接触	11	17.7	2	0.9
有害物との接触	0	0.0	3	1.3
感電	1	1.6	1	0.4
火災	1	1.6	1	0.4
交通事故	1	1.6	2	0.9
動作の反動・無理な動作	4	6.5	21	9.0
その他	2	3.2	1	0.4
合計	62	100.0	234	100.0

### 起因物別

- ・事故の型ごとに起因物をみると、墜落・転落災害、切れ・こすれ災害に特徴的な傾向が見受けられる。

#### a) 墜落・転落災害の特徴

- ・墜落災害は、休業4日以上計80人うち、はしご等からの墜落が31人と最も多く、38.8%を占めている。次いで、足場からの墜落15人で19%を占めている。
- ・一方、休業4日未満計10人のうち、足場からの墜落が5人、50%と最も多い。1.5m程の低所からの墜落が見受けられる。はしご等からの墜落は1人とどまっている。

#### b) 切れ・こすれ災害の特徴

- ・切れ・こすれ災害は、休業4日以上計16人うち、丸のこ盤が7人と最も多く、43.8%を占めている。
- ・一方、休業4日未満計7人のうち、カッターナイフ、くぎが2人ずつと、この2つで過半を占めている。

### 傷病性質別

- ・休業4日以上は、骨折が最も多く、53.8%と半数以上を占めている。その次に、創傷が17.1%を占めている。
- ・一方、休業4日未満は、打撲傷が41.9%と最も多く、創傷が24.2%で続き、この2つで約3分の2を占めている。

表 建築工事 疾病性質別

疾病性質	休業4日未満		休業4日以上	
	人数	構成比	人数	構成比
骨折	5	8.1	126	53.8
関節の障害（捻挫，亜脱臼及び転位を含む）	2	3.2	16	6.8
負傷による腰痛	1	1.6	6	2.6
創傷（切創，裂創，刺創及び挫滅傷を含む）	15	24.2	40	17.1
切断	0	0.0	6	2.6
打撲傷（皮膚の剥離，擦過傷，挫傷及び血腫を含む）	26	41.9	26	11.1
その他	13	21.0	14	6.0
合計	62	100.0	234	100.0

### 年齢階層別

- ・年齢階層別にみると、休業4日未満は30歳代が最も多く35.5%を占め、次いで29歳以下が30.6%を占め、この2つで3分の2近くを占める。

表 建築工事 年齢階層別

年齢階層別	休業4日未満		休業4日以上	
	人数	構成比	人数	構成比
29歳以下	19	30.6	48	20.5
30歳～39歳	22	35.5	61	26.1
40歳～49歳	5	8.1	38	16.2
50歳～59歳	10	16.1	46	19.7
60歳以上	5	8.1	41	17.5
不明	1	1.6	0	0.0
合計	62	100.0	234	100.0

### 疾病部位別(参考)

表 建築工事 疾病部位別

疾病部位	休業4日未満		休業4日以上	
	人数	構成比	人数	構成比
顔	3	4.8	1	0.4
眼	1	1.6	4	1.7
頸部	3	4.8	3	1.3
頭部と胴体, 頭部と肢体	3	4.8	10	4.3
頭蓋部	3	4.8	2	0.9
手	3	4.8	6	2.6
指	8	12.9	39	16.7
手首	1	1.6	8	3.4
肩	2	3.2	8	3.4
足	7	11.3	37	15.8
足首	1	1.6	12	5.1
足指	0	0.0	11	4.7
ひざ	5	8.1	11	4.7
もも	1	1.6	10	4.3
背部	0	0.0	5	2.1
胸部	2	3.2	14	6.0
腹部	0	0.0	5	2.1
骨盤部	0	0.0	7	3.0
胴体と肢体	2	3.2	10	4.3
前膊	1	1.6	6	2.6
熱中病	8	12.9	0	0.0
その他	8	12.9	25	10.7
合計	62	100.0	234	100.0

## B. 郵便業務

### 事故の型別

- ・休業4日未満は転倒災害が著しく多く、54.5%と半数以上を占めている。
- ・一方、休業4日以上は、交通事故が最も多く42.7%を占め、次いで、転倒が28.1%を占めている。

表 郵便業務 事故の型別

事故の型	休業4日未満		休業4日以上	
	件数	構成比	件数	構成比
墜落・転落	2	6.1	6	6.7
転倒	18	54.5	25	28.1
激突	4	12.1	2	2.2
激突され	0	0.0	2	2.2
はさまれ・巻き込まれ	3	9.1	4	4.5
切れ・こすれ	1	3.0	1	1.1
交通事故	4	12.1	38	42.7
動作の反動・無理な動作	0	0.0	9	10.1
その他	1	3.0	2	2.2
小計	33	100.0	89	100.0
不明(記載なし)	14			
合計	47			

### 転倒災害（起因物別）

- ・転倒災害について起因物別にみると、休業4日以上と休業4日未満は、バイクが最も多く40%近くを占めているなど、似たような傾向が見受けられる。

表 郵便業務 転倒災害における起因物

起因物	休業4日未満		休業4日以上	
	件数	構成比	件数	構成比
バイク	7	38.9	9	36.0
自転車	2	11.1	4	16.0
階段	5	27.8	5	20.0
通路	4	22.2	5	20.0
その他	0	0.0	2	8.0
合計	18	100.0	25	100.0

### 傷病性質別

- ・休業4日未満は打撲傷が著しく多く、55.3%と半数以上占めている。一方、休業4日以上は、打撲傷と骨折が30数%と同程度で、合わせて3分の2近くを占めている。

表 郵便業務 疾病性質別

疾病性質	休業4日未満		休業4日以上	
	人数	構成比	人数	構成比
骨折	7	14.9	29	32.6
関節の障害（捻挫，亜脱臼及び転位を含む）	8	17.0	18	20.2
負傷による腰痛	1	2.1	3	3.4
頭頸部外傷症候群（いわゆる「むち打ち症」）	3	6.4	2	2.2
創傷（切創，裂創，刺創及び挫滅傷を含む）	2	4.3	6	6.7
打撲傷（皮膚の剥離，擦過傷，挫傷及び血腫を含む）	26	55.3	30	33.7
その他	0	0.0	1	1.1
合計	47	100.0	89	100.0

### 年齢階層別

- ・年齢階層別にみると、休業4日未満は29歳以下が最も多く36.2%を占めている。

表 郵便業務 年齢階層別

年齢階層別	休業4日未満		休業4日以上	
	人数	構成比	人数	構成比
29歳以下	17	36.2	22	24.7
30歳～39歳	11	23.4	25	28.1
40歳～49歳	9	19.1	14	15.7
50歳～59歳	7	14.9	23	25.8
60歳以上	2	4.3	5	5.6
不明	1	2.1	0	0.0
合計	47	100.0	89	100.0